

平成 21 年度 第 5 回病院局経営戦略会議概要

日 時：平成 21 年 8 月 17 日（月） 午後 3 時 00 分～午後 5 時 00 分

場 所：県庁 10 階 企業局会議室

出席者：病院局 病院事業管理者、病院局長、総務課長、
経営企画課長 ほか

病院 中央病院長、海部病院長、中央病院副院長、
各県立病院看護局長、各県立病院事務局長 ほか

(1) 改築事業と収支見通しについて

【説明】病院局経営企画課 企画管理担当

中央病院の改築事業に伴う収支見通しと、財務状況が良好な自治体病院を参考として紹介する。

【質疑等】

管理者：中央病院改築に伴う減価償却は平成 24 年度から始まる。今までは、中央病院が黒字決算を牽引してきた。これからは、三好病院・海部病院が牽引していかなければならず、「県民から支えられる病院」となるため、職員一人一人が自己変革していかなければならない。

(2) 平成 21 年度決算見込みについて

【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 20 年度の決算見込みについて示す。

【質疑等】

管理者：研究研修費/医業収益については、県内の公立病院、公的病院と比較して高くトップの比率であり、全国の自治体病院の中でも上位にランクされている。しかし、費用に見合う成果がでていない。研究研修費を減らすつもりは全くないが、その原因が個人の資質に依るのか、研修を行っているシステムが悪いのか、分析が必要である。

また、勤務医不足による経営の低迷という悪循環をどのように断ち切るか。勤務医不足であっても、ベクトルを合わせて、他の病院ができないことを行っていないといけない。

(3) 平成 20 年度の未収金対策について

【説明】病院局経営企画課 予算経理担当

平成 20 年度までの未収金の状況とその対策について説明する。

【質疑等】

管理者：2年連続で未収金は減少している。法的措置についても、回収額は少ないが、このような地道な努力は良いことである。

担当者会議において、知識・情報を共有しあうだけでなく、実際の業務に反映させなければならない。

(4) 広報について

【説明】中央病院

広報誌「ナニージャ」による広報活動について、中央病院では、経費をあまりかけずに、患者さんと病院スタッフをつなぐ独自の冊子を作成している旨を説明する。

【質疑等】

管理者：何部ほど発行しているのか。

中央病院：1,000部ほど発行している。外来患者の待ち時間の不満解消を目的としている。

管理者：医療機能評価では、外来患者の3倍ほど発行することが望ましいとされている。

【説明】三好病院

三好病院における広報委員会の活動状況、広報誌「県立三好病院」及びホームページによる広報活動及び今後の広報活動について説明する。

【質疑等】

病院局長：紙面の内容について、患者さんの希望はないのか。

三好病院：ニーズに沿った広報としていけるよう検討していきたい。

管理者：ホームページへ掲載する際のチェック体制はどうか。広報委員会において、体制整備をしっかり行うこと。

【説明】海部病院

海部病院における広報体制、広報媒体等を説明するとともに、院内には、医師不足をはじめとするマイナス情報も発信すべきであるとの声があることを紹介する。

【質疑等】

管理者：マイナス情報というのではなく、例えば「こういった疾患の場合には他の病院へ搬送します」というように、住民の方に正しく現状を知ってもらうようにすればよい。

また、外来診療表が見つらい。クリックすれば、医師の説明が読める等の工夫を行い、より分かりやすい方法を広報委員会で検討すること。

【説明】病院局総務課 政策調整担当

広報の対象者、広報の目的等、広報全般について説明。

知りたい(求められる)情報の提供と 知って欲しい(伝えたい)情報の提供をどのような媒体を通じて、いかに的確に提供するかが重要である。

【質疑等】

管理者：各病院においては、広報の趣旨をしっかりと考え、広報委員会で活発に議論すること。

(5) その他

・「私のカルテ」坂出市立病院視察に関する報告について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

坂出市立病院の視察状況について報告する。

【質疑等】

管理者：坂出市立病院視察は、「私のカルテ」の勉強以外に、組織風土を感じてきてもらいたい、という意図もあった。坂出市立病院の組織風土を感じて、仕事に活かしてもらいたい。

「私のカルテ」については、できるところから、至急実施していくこと。

・次月分の病院局戦略会議の議題について

【説明】病院局経営企画課 経営戦略担当

9月分の病院局経営戦略会議の議題案について報告する。

【質疑等】

管理者：病院からのプレゼンテーマについて、病院局が決めているので、局の戦略会議は活気が乏しくなっている。今までと方法を変えて、各病院からテーマを出すという見直しも良いのではないか。